

# 11 地域の山の木をまとめて有利に販売したい

林業生産を拡大したいが、小規模な所有者が多くて効率が悪く、販売単価もよくない。地域の山の木をまとめて有利に販売したい



- 国有林と森林共同施業団地を設定  
⇒林道や土場を共同利用することで効率的な木材販売や森林整備ができます。
- 国有林と大口需要者のシステム販売に参加（民国連携システム販売※）  
⇒小ロットでの販売よりも有利な価格で販売できます。
- 採材検討会  
⇒素材生産事業者、市場、製材工場関係者等が集まり、需要の高い採材（丸太の長さや太さ）について情報共有・意見交換することで有利販売を図ります。



## ※民国連携システム販売とは

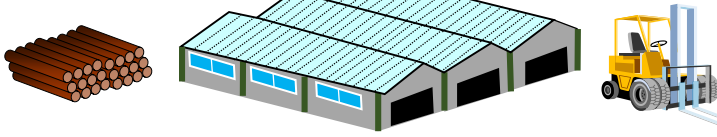
国有林と連携して木材の販売を行う民有林関係者等を広く募集し、「民有林と国有林が連携した安定供給システム販売」を管内各地で実施しています。国有林との連携により、民有林関係者等における新たな販売先の確保や安定した収入の確保が期待できます。

## 協定



## 直送

安定的に供給される



採材検討会の様子



民国で連携した木材集積場

森林共同施業団地や民有林と連携したシステム販売の情報については  
[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/ryuiki/](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/ryuiki/)

